

# 第7期(平成27年度)事業報告書

平成27(2015)年4月1日から平成28(2016)年3月31日まで

特定非営利活動法人 水産業・漁村活性化推進機構

## 1 事業概況

- (1) 生産構造が脆弱化している水産業の効率的・効果的な構造転換を促進し、より厳しい経営環境下においても継続できる経営体の育成を図るための施策である、「漁業構造改革総合対策事業」の事業主体として、前年度補正予算以降措置された新規事業の周知を図るとともに、引き続き円滑な事業推進に努めた。
- (2) 東日本大震災により甚大な被害を受けた水産業の復興に向けた施策である「漁業・養殖業復興支援事業」は5年度目となるため、事業主体として、本事業終了後の漁業者・養殖業者の自立も視野に入れながら、引き続き関係機関・団体と連携・協力し、被災漁業者・養殖業者に対する指導、及び事業の円滑な推進に努めた。
- (3) 同じく復興施策である「漁業経営体質強化機器設備導入支援事業」については、事業主体として応募し、被災地漁船漁業の早期復興の一助となるよう努めた。
- (4) 本年度より単年度補助事業となった「有害生物漁業被害防止総合対策事業」については、事業主体として応募し、対象有害生物出現情報の充実、漁業被害の軽減等に努めた。なお、大型クラゲが大量発生した際には、既存基金の有効活用を図ることとしていたが、大型クラゲの大量発生はなかった。
- (5) プロパー事業として、関係団体と連携のうえ、魚食普及に関するイベント、地域水産業の振興・活性化に係る啓発活動への協賛・支援を行った。
- (6) 常に、ホームページの充実とタイムリーな更新に努め、本機構の活動や事業の成果等について水産関係者・団体をはじめ、広く国民一般への広報に努めた。
- (7) TPP対策として平成27年度補正予算で措置された「水産業競争力強化緊急事業」の補助事業者に急遽応募し、選定を受けて225億円の基金を造成した。併せて関係団体・機関等と連携・協力し、当該基金で行う各種事業について逐次立ち上げを行っているところである。

## 2 事業の実施状況

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 経営体(人数)	実績 /年間予算額  (単位:千円)
① 漁業経営の安定化に関する事業	・ 漁業及び養殖業の収益性の向上等を目的とする「 <b>漁業構造改革総合対策事業</b> 」の事業主体として、事業実施者に対する必要な経費の助成、指導等を実施する。	(A) 周年 (B) 全国60地域 (C) 18人	(D) 漁業者・養殖業者等 (E) 162経営体	32,795,770 /36,904,404
	・ 東日本大震災により壊滅的な被害を受けた漁業の復興支援を目的とする「 <b>漁業復興支援事業</b> 」の事業主体として、事業実施者に対する必要な経費の助成、指導等を実施する。	(A) 周年 (B) 被災地 17地域 (C) 15人	(D) 被災地の漁業者等 (E) 83経営体	18,702,981 /14,203,397
	・ 東日本大震災により壊滅的な被害を受けた養殖業の復興支援を目的とする「 <b>養殖復興支援事業</b> 」の事業主体として、事業実施者に対して必要な経費の助成、指導等を実施する。	(A) 周年 (B) 被災地 16地域 (C) 34人	(D) 被災地の養殖業者等 (E) 757経営体	7,350,357 /8,221,000
	・ 東日本大震災により被害を受けた漁業者グループによる省エネ機器設備導入を推進し、単なる復旧にとどまらない省エネに優れた高収益・環境対応型漁業への転換と迅速・効率的な漁業の再建を目的とする「 <b>漁業経営体質強化機器設備導入支援事業</b> 」の事業主体として、必要な経費の助成等を行う。	(A) 周年 (B) 被災地 15地域 (C) 2人	(D) 被災地の漁業者等 (E) 172経営体	499,823 /530,000

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 経営体(人数)	実績 ／年間予算額  (単位:千円)
① 漁業経営の安定化に関する事業(続き)	・ 広域な漁村地域が連携し、生産の効率化や販売力の強化、地域の漁業を維持・発展させていくための中核的担い手育成、漁船漁業の構造改革等に取り組むための「浜の活力再生広域プラン又は漁船漁業構造改革広域プラン」を策定し、当該プランに基づく浜の機能再編や市場・水産関連施設の集約化、漁船の更新・改修等を進めることにより、水産業の競争力強化を図ることを目的とする、「 <b>水産業競争力強化緊急事業</b> 」の事業主体として必要な経費を助成する。	(A) 3月 (説明会開催) (B) 東京、福岡 (C) 18人	(D) 漁連・漁業関係団体等 (E) 参加者250名	959 ／0
② 水産資源の保護・増進に関する事業	・ 資源水準に見合う漁業体制を構築するための減船や資源管理を図るための漁獲対象魚種等の転換を実施する漁業者の経営等への影響を緩和し、資源の管理・回復及び漁業生産構造の再編整備の円滑な推進を図ることを目的とする「 <b>再編整備等推進支援事業</b> 」の事業主体として、事業実施者に対して必要な経費の助成を行う。	(A) 周年 (B) 全国1地域 (C) 2人	(D) 漁業者 (E) 14経営体	17,695 ／805,048
③ 漁場環境の保全に関する事業	・ 大型クラゲ・トド・ナルトビエイ・ザラボヤ等の有害生物による漁業被害の防止対策を目的とする国の補助事業である「 <b>有害生物漁業被害防止総合対策事業</b> 」の事業主体として、有害生物出現状況等の情報提供や、事業実施者に対し必要な経費の助成等を行う。	(A) 周年 (B) 全国(大型クラゲ)、北海道、青森(トド)、有明海・周防灘(ナルトビエイ)、北海道・青森・岩手(キタズクラゲ)、北海道・青森(ザラボヤ) (C) 8人	(D) 漁業者・漁協等 (E) 10,000人程度	467,104 ／1,076,031
④ 魚食を中心とした食育普及推進事業	・ 水産物消費拡大に向けた活動の一環として、全漁連が主催する「漁師自慢の魚<プライドフィッシュ>プロジェクト」に協賛・支援等を行った。	(A) 10月、3月等 (B) 東京都内 (C) 1人	(D) 一般市民、漁業団体等 (E) 3,000人程度	304 ／304
⑤ 水産業の発展に関する事業	・ 徳島県南部の漁村地域における地域振興策策定の一助として、講師を派遣し漁協関係者を啓発するため開催された研修会に係る経費の一部を助成した。	(A) 10月 (B) 徳島市内 (C) 1人	(D) 漁協関係者 (E) 13人	116 ／200
⑥ 水産関係団体に対し、連絡、助言又は援助を行う事業	・ ホームページの更なる充実を図り、本法人の活動等のタイムリーな広報に努める。	・ 随時	・ 不特定多数	0

59,835,109  
／61,740,384  
96.9%

## (2) その他の事業

本年度の実績は無い。